



2017.12.1

速報!! 2018年度秋公募が終了、過去最高の申請件数(708件)となりました!!

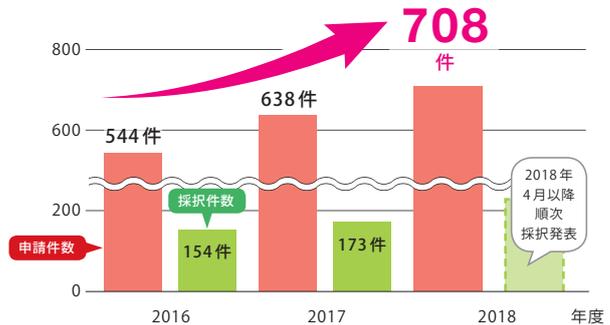
2018年度助成分の秋公募は、科研費改革の節目の年(KAKENHI Reform 2018)と位置づけられ、「審査システム(審査区分・審査方式)」、「研究種目・枠組み」が一体的に見直される中、本大学からの申請件数は過去最高となりました。研究種目ごとの内訳や推移は次の通りです。

■ 研究種目ごとの申請件数内訳(直近3ヵ年)

研究種目名	2016	2017	2018
新学術領域研究(新規領域・領域代表)	2	1	1
新学術領域研究(新規領域・計画研究)	21	16	9
新学術領域研究(継続領域・公募研究)	16	22	28
特別推進研究	1	0	1
基盤研究(S)	3	4	8
基盤研究(A)(一般)	17	16	26
基盤研究(A)(海外学術調査)※1	2	0	-
基盤研究(B)(一般)	57	69	83
基盤研究(B)(海外学術調査)※1	5	6	-
基盤研究(B)(特設分野研究)	2	4	4
基盤研究(C)(一般)	181	255	294
基盤研究(C)(特設分野研究)	13	17	18
若手研究※2	-	-	161
若手研究(A)※2	18	12	-
若手研究(B)※2	126	130	-
挑戦的研究(開拓)※3	-	3	7
挑戦的研究(萌芽)※3	-	83	68
挑戦的萌芽研究※3	80	-	-
合計	544	638	708

※1 2018年度政府予算案決定後、種目見直しの上2018年1月以降に公募を実施予定
 ※2 2018年度に若手研究(A)は基盤研究への統合に伴い新規公募停止、若手研究(B)は若手研究に改称
 ※3 2017年度に挑戦的萌芽研究が見直され、挑戦的萌芽研究(開拓・萌芽)として公募実施

■ 秋公募における申請件数と採択件数推移(直近3ヵ年)

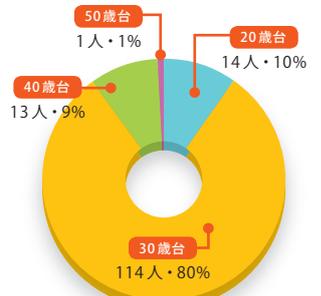


科研費による若手支援の対象変更(「年齢基準(39歳以下)」から「博士号取得後年数(8年未満)」)については、科研費改革の目玉として「科研費ニュース」等を通じて早期から各リサーチオフィスより周知を図ってきました。申請結果を振り返り、次のような特徴がみられました。

若手研究(従来若手B)の申請者161名を要件別にみると、19名が経過措置(39歳以下の博士学位未取得者)による申請、142名が新要件による申請となり、142名のうち14名は従来は申請できなかった40歳以上でした。

一方、39歳以下の申請者の種目傾向に変動が見られ、申請増が顕著だったのは、基盤B一般14件(昨年比+12件(+7.0倍))、基盤C一般34件(昨年比+22件(+2.83倍))でした。基盤B一般は応募額が同規模(50

万円以上)の若手Aの公募停止に伴う申請増、基盤C一般は博士号取得後8年を経過している研究者からの申請増であると考えられます。



■ 若手研究
新要件による申請者142名の年齢構成

Schedule 研究種目ごとの交付内定までのスケジュール

公募終了後、速やかに審査(複数の研究者によるピア・レビュー)に入ります。研究種目ごとの交付内定(採択発表)までのスケジュールは次の通りです。
 ★の研究種目は、書類審査、合議審査を通過した研究領域・課題のみがヒアリング審査に臨み採択が決定されます。

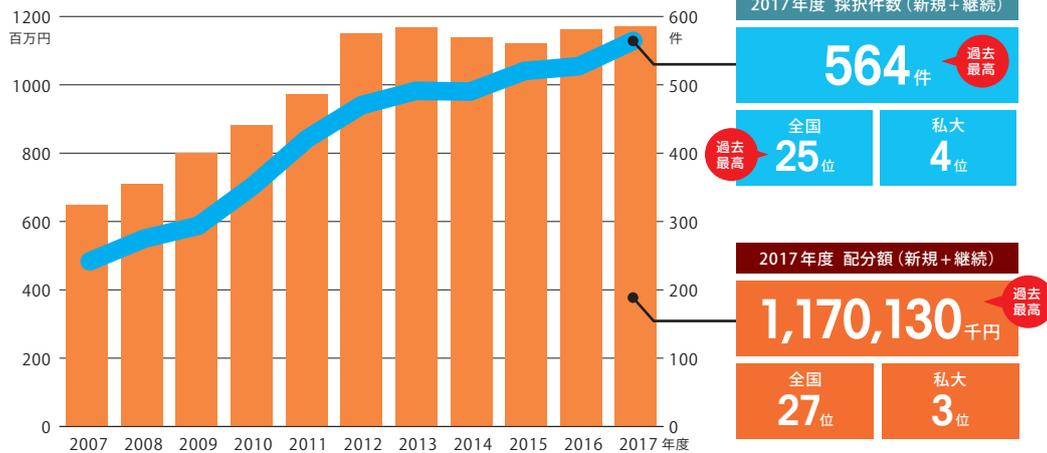
	12月・1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新学術領域研究・新規領域【★】	→	下旬 ヒアリング対象領域選定	→	→	→	下旬 交付内定	
特別推進研究【★】	→	→	下旬 ヒアリング研究課題選定	下旬 交付内定			
基盤研究(S)【★】	→	→	→	下旬 ヒアリング研究課題選定	下旬 交付内定		
新学術領域研究・継続領域(公募研究)	→	→	→	上旬 交付内定			
基盤研究(A・B・C)(一般)	→	→	→	上旬 交付内定			
若手研究	→	→	→	上旬 交付内定			
研究成果公開促進費(学術図書・データベース)	→	→	→	上旬 交付内定			
基盤研究(B・C)(特設分野研究)	→	→	→	→	→	中旬 交付内定	
挑戦的研究(開拓・萌芽)	→	→	→	→	→	中旬 交付内定	

交付内定があり次第、研究部HP (<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/kakenhi/>)にて交付内定者の氏名等を発表する予定です。

2017年度配分結果

2017年10月13日に文部科学省は、2016年9月～11月および2017年3月～5月に公募のあった主要な研究種目の新規採択課題と継続課題に関する配分結果を発表しました。本大学の特筆すべきポイントを紹介します。

配分結果の推移



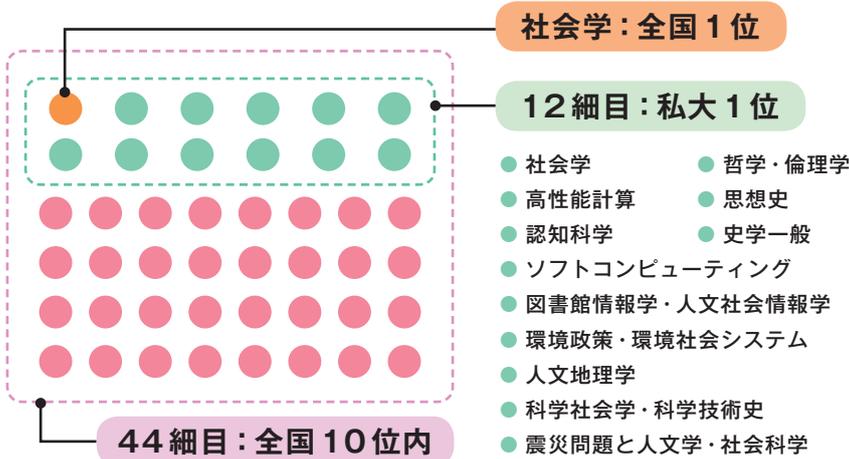
NEWS & TOPICS

手嶋教之・理工学部教授(写真中右)と桂敏也・薬学部教授(写真中左)が2017年度の科研費審査委員の表彰を受け、11月6日に吉田美喜夫学長、渡辺公三副学長(研究担当)へ受賞の報告をおこないました。本大学教員は3年連続で表彰を受けました。

www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=882

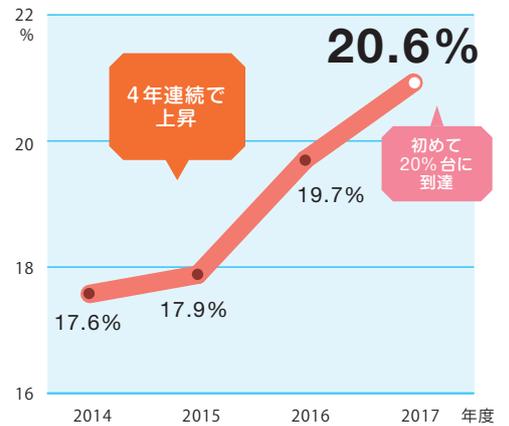


細目別の採択件数ランキング (2013～2017年度における新規採択累計件数)



女性比率

(採択件数に占める女性研究者のシェア)



研究部からの科研費に関するお知らせ

2018年度助成分の公募スケジュール (予定)

2018年1月～ 基盤研究(A・B) (海外学術調査)の後継種目

2018年3月～ 研究活動スタート支援

公募詳細が分かり次第、研究部HP等を通じて各リサーチオフィスよりお知らせします。

2018科研費改革、まだまだ続きます!!

科研費獲得支援 (学内助成)

2018年度研究推進プログラム「科研費獲得推進型」

研究部では来年度も科研費獲得をサポートする学内助成を実施する予定です。

2018年度助成分の秋公募の採択結果が発表される来春以降に本プログラムの詳しい募集要項が確定する見込です。

立命研究者の会 研究者同士をつなげる交流の場

リサーチライフサポート室主催の参考企画

学部や学科、キャンパスを超えたネットワーク形成はもちろん、文理融合・複合領域における共同研究プロジェクトの創成等、研究交流の機会へとつながることを目指すイベントです。科研費の研究組織づくりのきっかけとして、是非ご参加ください。

12月22日(金) 12:20～14:30 衣笠: 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

事前申込不要 出入り自由 <http://www.ritsumeai.ac.jp/research/rsupport/news/article.html?id=38>

[お問合せ先] リサーチライフサポート室事務局 rsupport@st.ritsumeai.ac.jp

